

コープこうべ 環・福 連携の取り組み

環境活動

食品ロス削減



福祉活動

困窮者支援

「もったいない」を「ありがとう」に

生活協同組合コープこうべ

地域活動推進部 地域連携推進

足立 大

コープこうべ活動エリア

兵庫県全域、
京都府京丹後市、
大阪府北部(豊中市・箕面市・池田市・吹田市・
茨木市・高槻市・摂津市・能勢町・
豊能町・島本町・大阪市淀川3区)

組合員数・・・172.9世帯 (組織率49.4%)

(個人宅配・協同購入・・・約50万4千世帯)

供給高・・・2,471億円 (2021年度)

出資金・・・367.8億円

事業所・・・住吉事務所 地区本部8 店舗146 協同購入センター23 商品検査センター
コープ土づくりセンター 協同学苑 物流センター8 ギフトセンター 食品工場
共済センター クレリ案内センター 地域包括支援 サービス付高齢者向け住宅
通所介護 生活文化センター コープ加チャ-他



買い物行こカー

店舗への送迎車

「買い物行こカー」は、2016年度に始まり、現在、27台 30店舗まで広がりました。年間でのべ10万6744人が利用しています。

高齢者の悩みは「いつでも安心して暮らしたい」。これに生活が積極的に関わっています。

「買い物行こカー」は、移動店舗から必要とされる時代になる、広がっています。



「移動店舗」は、都市部でも必要とされている。

この地域ではスーパーがなく、買い物困難な人が多い。



移動店舗

「移動店舗」は、都市部でも買い物に不便を感じている方々がもと利用できるように、駅前商店街を巡回するなど、改善に取り組みしています。現在、9台 506か所、年間でのべ12万5394人が利用しています。

体が弱くなっており、台所仕事や少しでも重い取り扱いは難しい。



まいくる

栄養バランスに配慮した夕食弁当をお届け

「まいくる」は、メニューの充実や、冷凍おかず(冷凍まいくる)のおすすめなど、組合員のくらしに寄り添って、改善に取り組みしています。現在、1日 9260食の利用があります。

店や遠くに行く、交通は命題。宅配がなかったら生活が難しい。



地域めーむひろば

店舗以外の場所で、宅配商品の受け渡し

地域の企業の事務所などで、商品の受け渡しをする「地域めーむひろば」は、2018年度に始まり、現在、25か所に広がっています。

健康づくり

兵庫県保健連や医療生協など、地域の協同組合と連携し、健康づくりに向けた取り組みの強化をのぞき、「健康チャレンジ」が、2018年度から始まり、2021年度は、4395人が参加しました。

健康寿命を延ばす社会全体で取り組みを推進したい。

コミュニティ食堂

子ども食堂

地域と連携して運営する、「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」が広がっています。現在、39か所で運営しています。(休止中含む)



地域の皆さまと「寄り合い」の場のような場で、一緒に食事ができるといい。

お互いに参加するという意識で、「こども食堂」でも思えば作ってほしい。

困っている人の多く、助け合いを思っている人と結びあえる仕組みづくり。

地域の居場所・つどい場

「ふれあい喫茶」など、コープサークルが運営する「つどい場」づくりの取り組みが進んでいます。「ふれあい喫茶」は現在、約85か所に広がっています。(休止中含む)「居場所・つどい場」は、2016年度に始まり、2021年度は、9か所立ち上げられました。



つどいやつどい場を会場に作り出すことで、地域づくりが発展していくと感じる。

地域つながるミーティング

地域との「出会い」の場、仲間との「登壇」の取り組みが生まれ続ける場をのぞき、「地域つながるミーティング」は、行政や社会福祉協議会、地域の活動者への呼びかけによって、地域つながるミーティングが、地域つながるミーティングの場として、さまざまなテーマで取り組んでいます。

地域コーディネーター

地区よりさらに小さい単位で、よりきめ細やかに地域連携と組合員参加の促進に寄り添い、「地域コーディネーター」は、2018年度に始まり、現在、10名が活躍しています。



「地域つながる」の視点、もっと地域との連携を深めていく必要がある。

お米を贈ろう助け合い募金

コロナ影響で、社会不安が少しでも和らげたいと願い、2020年7月に募金を実施。約700万円の賛成が寄せられました。

集まった募金で、お米を、地域の皆さまの暮らしに提供しています。

フードドライブ

家庭で余った食品品を持ち寄り、フードバンクや子ども食堂などに提供する「フードドライブ」は、2017年度に始まり、2021年度からは店舗で常時受付をしています。

集まった食品品は現在、地域の222の皆さまの団体に提供しています。



マインダフル運動や定着したように、社会的意義のある活動。

「食ロス」の問題は、生活から先取り取り組む。

助け合いのしくみ

コープくらしの助け合いの会(兵庫県内) 助け合い制度 コープむつみ会(大阪北地区)

地域住防の助け合いによって自立したくらしを支える有為の家事支援活動です。2021年度は、のべ2358人が活動し、のべ2891人が利用しました。

できるときに、できる人からできること、チャレンジお手伝い

たすけタッチ

「ゴミ出し」など、ちょっとした困りごとをアプリの検索を使ってご近所同士で解決する取り組みが2021年1月に始まり、手助けしてほしい組合員と手伝える組合員がつながって実施されたたすけタッチは、2021年度末まで467件になりました。



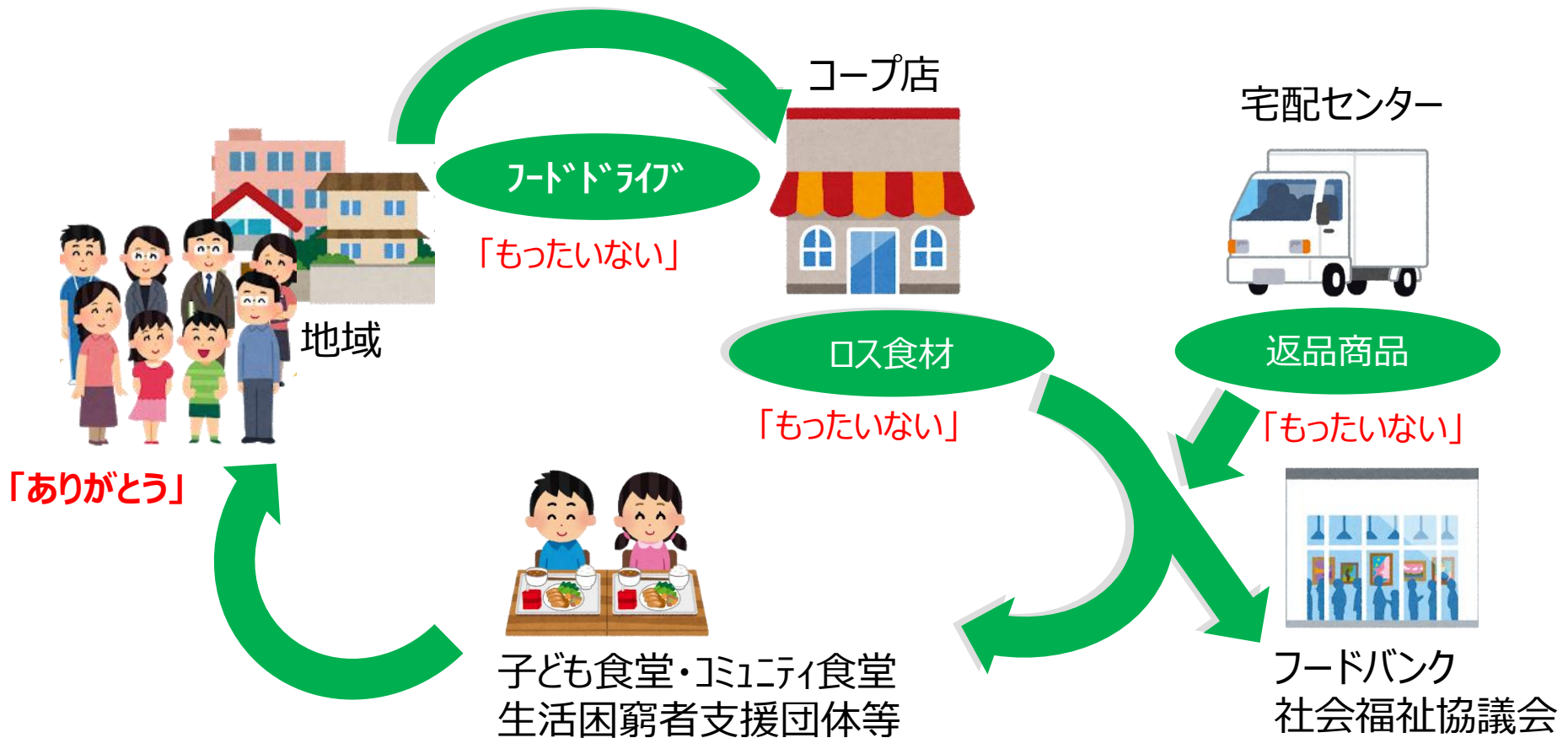
コープこうべ活動区域

37市 15町 3区



「もったいない」を「ありがとう」に

～ “善意”の循環図 ～



「もったいない」を「ありがとう」に

1. 食品ロス削減と食品寄付

フードドライブ

- 全コープ店（94店舗）常時受付
- 店舗・宅配で年2回集中取り組み
- 2021年度 約「20t」の協力

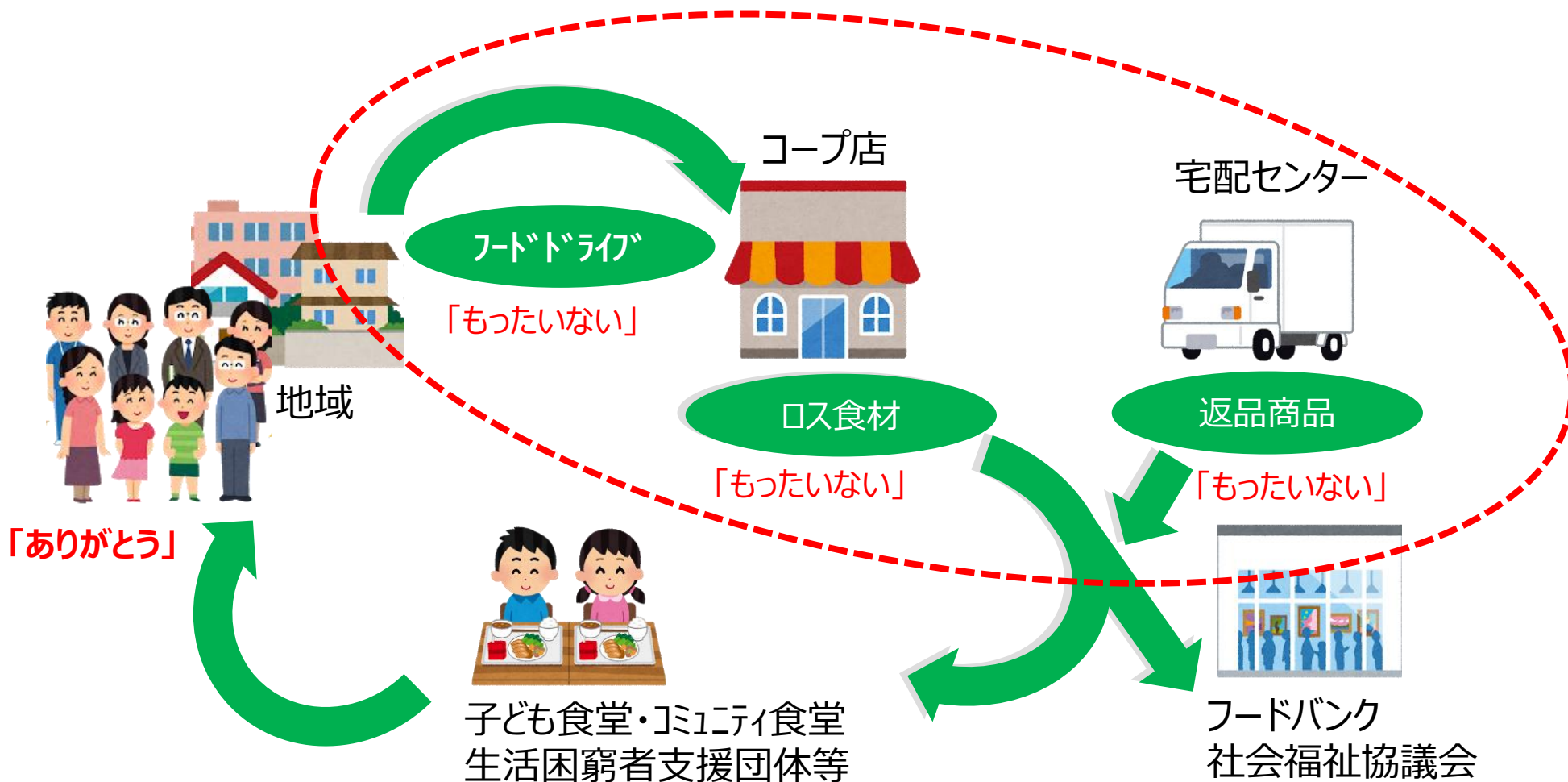
ほか

- 宅配返品商品
- 店舗管理日数切れ食品

→ 「食品ロス削減」に向けた啓発活動

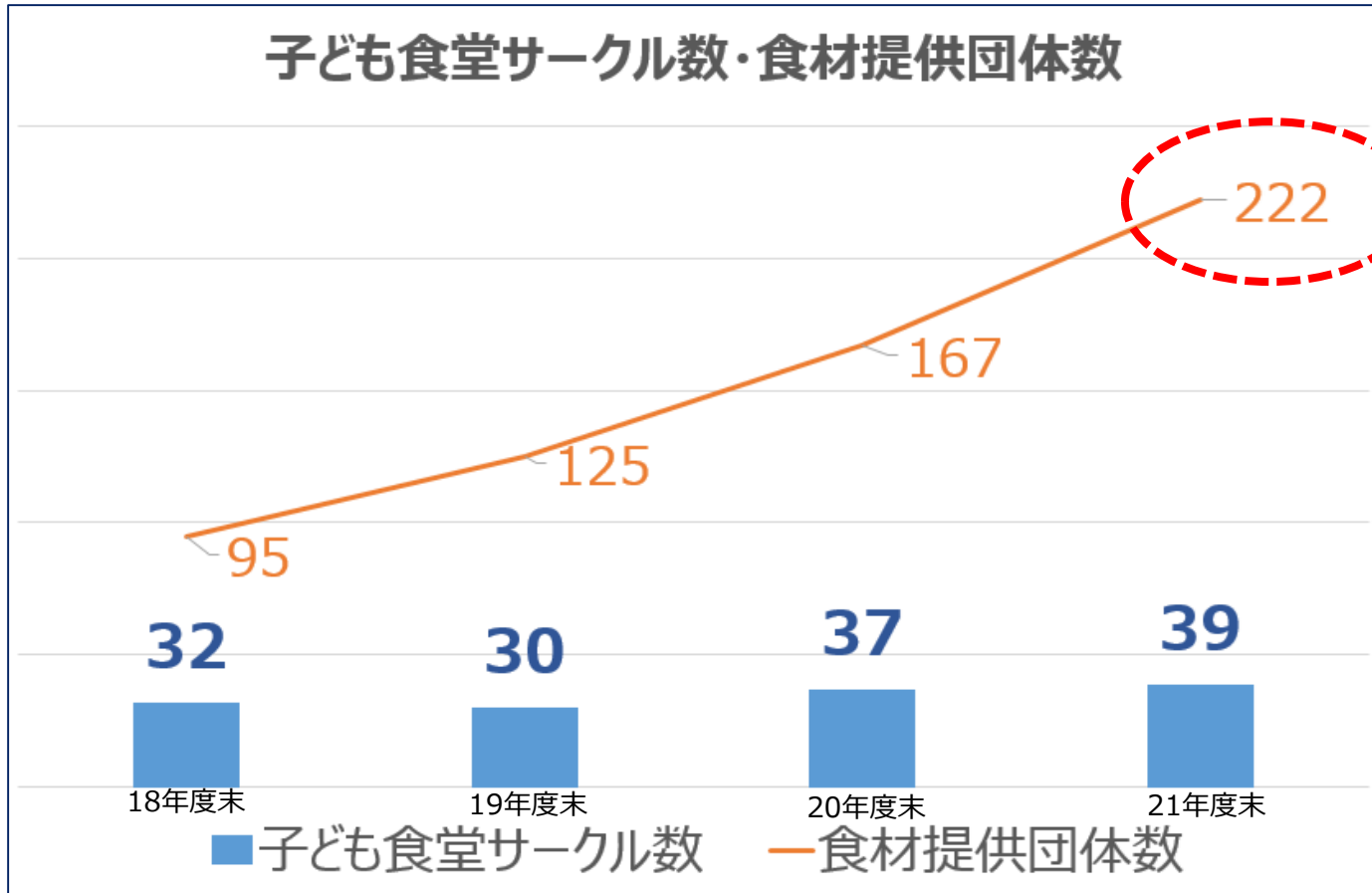
「もったいない」を「ありがとう」に

～ “善意”の循環図 ～



「もったいない」を「ありがとう」に

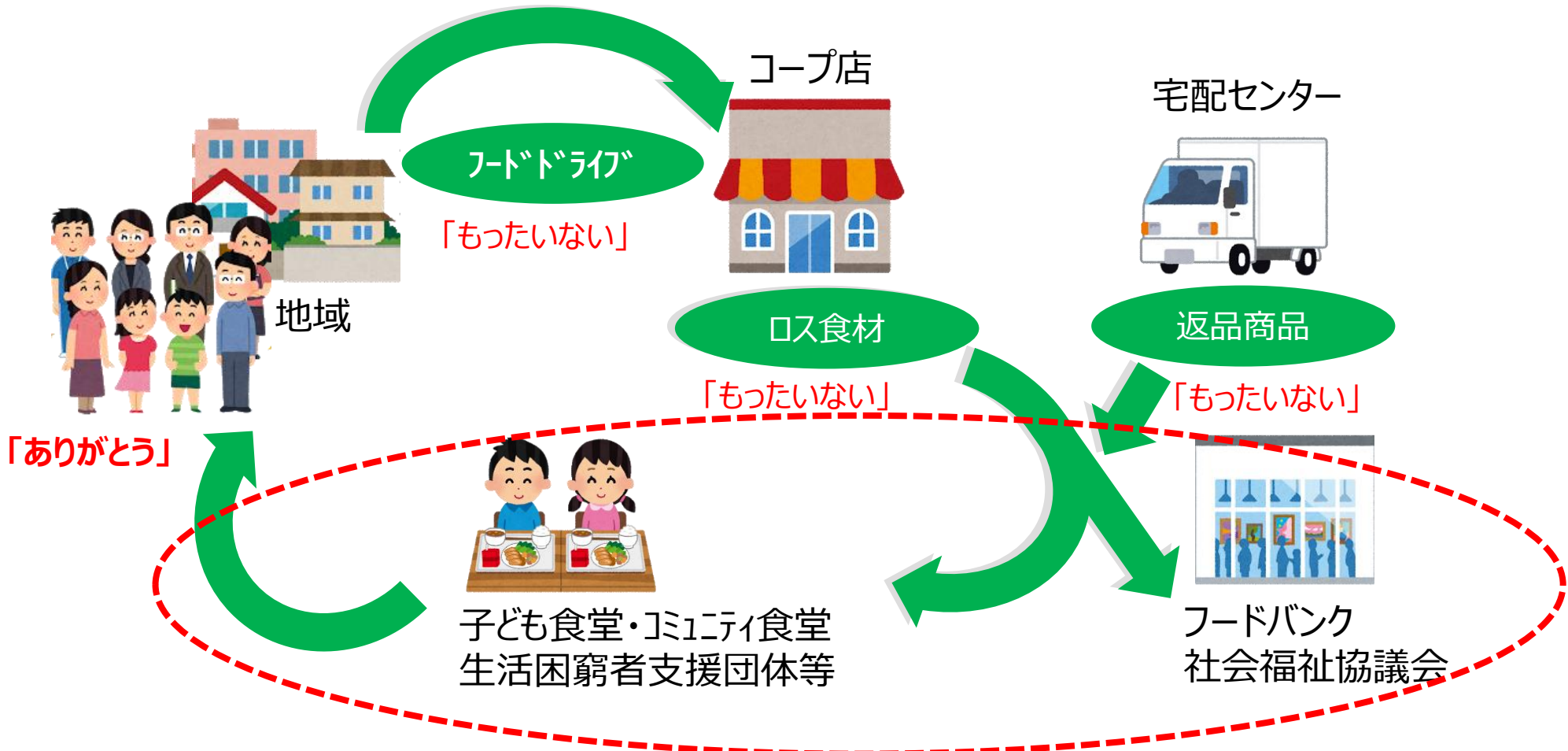
2. 支援団体とのネットワークづくり



→ 社協をはじめ、多様な支援団体と顔の見える関係づくり

「もったいない」を「ありがとう」に

～ “善意”の循環図 ～



「もったいない」を「ありがとう」に 事例①

(1) シェアミーティング

- みんなで食品を集めてみんなで分け合う
- 一緒にできることを話し合う



「子どもの居場所づくり情報交換会とフードシェアの会」
西区社協や子ども食堂など、20団体が連携
(2022年9月)



「加古川市内における循環型フードドライブ&配分会」
加古川市や兵庫大学など8団体が連携
(2022年9月)

→支援団体同士のつながりづくり

「もったいない」を「ありがとう」に 事例②

(2) お米を贈ろう助け合い募金

- 組合員からの募金で「米」を調達
- 支援団体を通して困窮者支援



個人宅配・協同購入で募金

「めーむ」商品注文書の6桁品番の欄に品番と数量を記入し、お申し込みください。
(※お申し込みは、必ず「めーむ」商品注文書に記入してください。)
募金金額については、商品記入の2桁欄の右側に記載されます。
※4桁まで(5桁目(※)は)料を申しにります。

募金金額	10 1,000円	10 100円
店番	088021	088030

3月9日(火)~20日(土)

コープこうべ 地域活動推進部 ☎078 (856) 1105

お店で募金

店内の募金箱へお入れください。
このお米が贈ります。

3月1日(月)~31日(木)

コープこうべへの募金は、お米をばいりたての米に加工して贈ります。お米は必ずお申し込みください。

提供

支援団体

調達

お米

呼びかけ

募金

私にも何かできないかしら？

2021年 約1千万円
2022年 約720万円

→社会的に弱い立場にある人たちへの支援の輪づくり

「もったいない」を「ありがとう」に 事例③

(3) 学生との連携

- 困窮学生を支援する取り組み
- 学生が企画・運営（食品提供）



神戸学院大学 学生未来センター
神戸学院×神戸市社協×生協
(2020年10月)



学生ボランティアグループ「繋がり隊」
関西学院×西宮市社協×生協
(2020年10月)



第2回「食材提供会」
関学同窓会×西宮市社協×生協
(2021年7月)

→協働と将来の担い手づくり

環境活動

食品ロス削減



福祉活動

困窮者支援

「もったいない」を「ありがとう」に
